

● 漏れバケツ理論

■ 地方経済の疲弊

これまで地方都市(本市含む)では、まちを豊かにするためさまざまな取り組みをしてきました。しかし、地域外との取引などにより、地域で得たお金が外へ流出してしまうなど、地域内でうまく循環できていない状況にあります。

そのため、地方は必ずしも豊かにならず、地方経済は疲弊してしまっています。



地域の「稼ぐ力」を付けるための取り組み「地域経済循環分析」について紹介します。

☎商工労働観光課商工労働係 ☎ (26) 7137

また、労働力に頼る割合が多い産業(=労働集約型産業)が増えています。ほかの産業(※)と比べて生産性が低く、労働者の賃金が低くなる傾向があります。

そのため、地域外に安価な商品を求めるなど、労働者の所得流出につながってしまいます。

※資本が事業の中心になる産業(=資本集約型産業)など



■ バケツから水を漏らさない

右のように、地域内にお金をたくさん費やしても、市外にお金が流出してしまう状態を「漏れバケツ理論」といいます。

お金が漏れ続けると、地域内の事業所の廃業につながり、地域外の事業所に頼るしかなくなります。こうなると、お金はさらに漏れてしまいます。

地域を豊かにするためには、稼ぐ(水を注ぐ)ことももちろん大切ですが、稼いだお金を地域内で循環させる(漏らさない)取り組みが重要です。

▶ 穴を開けても漏れていくように水を注いでも「漏れバケツ」



▶ 次回は、お金を地域内で何度も使うことで、経済効果が高くなる取り組み(=乗数効果)について紹介します。



一人ひとりの想いと行動で 世界をよりよく変えていく



市民の皆さんにSDGsを身近に感じてもらうよう、日常生活のなかで簡単にできるSDGsについて連載しています。最後は「経営編」です。

☎企画課企画係 ☎ (26) 7791



▲市HPのSDGs紹介はこちら

考えてみよう、SDGs。 経営編

✓ 生態系にやさしいビジネスをする

▶ 植物や動物の生息域を大切にすることで、急激な環境の変化や破壊を防ぎます。



✓ 後継者を育てる

▶ 会社の経営などを後継者へしっかり引き継ぐことで、持続可能な地域経済の発展につながります。



このほかにも、SDGsにつながる行動は身近にたくさんあります。さあ、行動しよう!